

第130回幹事会議事要旨

日時 平成23年7月28日(木) 13:30~20:00

場所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 広渡 清吾

(副会長) 大垣眞一郎、秋山 弘子、唐木 英明

(第一部) 小林 良彰、木村 茂光、酒井 啓子、白田 佳子

(第二部) 浅島 誠、北島 政樹、山本 正幸、鷺谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、永宮 正治

(事務局長) 齋藤 敦

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、中澤 貴生、石原 祐志、渡部 良一

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 国際人権ネットワーク対応委員会の委員の決定が承認された。

(2) 部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置及び委員の決定が承認された

(3) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、承認された。

・提言「我が国の医学教育はいかにあるべきか」(案)(基礎医学委員会・臨床医学委員会合同医学教育分科会、説明者:北島政樹委員長、渡辺守幹事)

・提言「学術統計の整備と活用に向けて」(案)(科学者委員会学術統計検討分科会、説明者:家泰弘委員長)

・提言「人類の持続性確保に貢献するフロンティア人工物科学技術の推進」(案)(総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会、説明者:久保田弘敏委員長、大和裕幸幹事)

・報告「昆虫科学の果たすべき役割とその推進の必要性」(案)(農学委員会応用昆虫学分科会、説明者:嶋田透副委員長、後藤千枝幹事)

(4) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、所要の修文について各部が責任を持つことを条件に承認された。

・提言「地域主権改革と博物館—成熟社会における貢献をめざして—」(案)(史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会、説明者:木下尚子委員長)

・提言「歴史学・考古学における学術資料の質の維持・向上のために—発掘調査のあり方を中心に—」(案)(史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会、説明者:木下尚子委員長)

・報告「資源循環型ものづくりを実現するための学術的指針—地球温暖化対策を主対象に—」(案)(機械工学委員会生産科学分科会、説明者:古川勇二委員長、木村文彦委員、圓川隆夫委員)

・提言「子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針」(案)

(健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会、説明者：福永哲夫委員長、大築立志委員)

- ・提言「気候変動下における水・土砂災害適応策の深化に向けて～第一次提言～」(案) (土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う水害・土砂災害への対応分科会、説明者：小松利光委員長、望月常好委員)
 - ・提言「新しい高校地理・歴史教育の創造ーグローバル化に対応した時空間認識の育成ー」(案) (心理学・教育学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同 高校地理歴史科教育に関する分科会、説明者：油井大三郎委員長、碓井照子副委員長、小谷汪之史学委員会委員長)
 - ・提言「わが国に望まれる食品安全のためのレギュラトリーサイエンス」(案) (農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同食の安全分科会、説明者：春日文子副委員長、立川雅司幹事)
 - ・提言「国民の健康増進を支える薬学研究ーレギュラトリーサイエンスを基盤とした医薬品・医療機器の探索・開発・市販後研究の高度化を目指してー」(案) (薬学委員会、説明者：橋田充委員長)
 - ・提言「IT社会の最適化ー日本の復興と新成長のために」(案) (法学委員会「IT社会と法」分科会、説明者：池田眞朗委員長)
- (5) 以下の提言について説明があり、審議の結果、審議の結果、所要の修文について各部が責任を持つことを条件に承認された。
- ・提言「社会のための学術としての「知の統合」ーその具現に向けてー」(案) (社会のための学術としての「知の統合」推進委員会、説明者：舘 暲副委員長、七丈直弘学術調査員)
- (6) 以下の提言等について説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することになった。
- ・提言「農業環境工学を活用した環境教育の充実に向けて」(案) (農学委員会農業生産環境工学分科会、説明者：真木太一委員長、早川誠而委員)
 - ・提言「高等教育における環境教育の充実に向けて」(案) (環境学委員会環境思想・環境教育分科会、説明者：小澤紀美子委員長、鳥越けい子幹事)
- (7) 国際会議関係について、平成23年度代表派遣について(平成23年9月)、IAP's 4th Young Scientists Conference 2011への会員の派遣、ブータン学術機関等との会合に係る会員の派遣が承認された。
- (8) 日本学術会議協力学術研究団体の指定(4団体)が承認された。
- (9) 規則関係について、日本学術会議協力学術研究団体規程の一部改正が承認された。
- (10) 10件のシンポジウム等の主催、5件の国内会議の後援が承認された。
- (11) 「日本学術会議の活動状況等に関する年次報告(平成22年10月～平成23年9月)」の作成について承認された。
- (12) 「第21期における分科会活動の総括結果について」が承認された。

3 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 東日本大震災対策委員会における分科会委員(特任連携会員)の決定について承認された。

(2) 第9回産学官連携功労者表彰について報告があった

4 定年により8月2日に退任する第二部の北島副部長より挨拶があった。

5 その他事項として、第161回総会の日程について確認があった。また、今後の予定の確認が行われた。